

# 小中学生に粉末茶贈る

## 浜松の振興協 3産地の一番茶使用

浜松市や茶業関係団体などつくる市茶振興協議会はこのほど、市内3産地の今年の一  
番茶で作った粉末スティック茶を市内の小中学校の児童、生徒計約6万4千人に贈る事業を開始した。

スティック茶は1本1袋入り。浜松茶(北、西、浜北区)、天竜茶(天竜区)、春野茶(同)を別々に袋詰めした。パッケージのイラストは各産地の特徴をイメージし、静岡文化芸術大デザイン学部2年の



児童に粉末スティック茶を手渡す村松代表理事組合長(右)＝浜松市中区の東小

山本佳奈さんが描いた。児童、生徒1人当たり各産地5本ずつ配布する。

中区の東小で行われた贈呈式では、浜松茶農協の村松久仁二代表理事組合長が児童代表の古川昂志君と杉山桃子さん(ともに6年)

に茶を手渡し、「3産地の特色がよく出ているので味わって飲んでほしい」と呼びかけた。古川君は「お茶に親しめる機会ができてうれしい。飲み続けて元気に過ごしたい」と感謝の言葉を述べた。

同協議会は、来年2月ごろまでに市内の小中学校157校へ茶を届ける。

(浜松総局・草茅出)